



# ControlSpace EX-1280C

## Conferencing Processor

設置および操作ガイド

**安全上の留意項目および使用方法をよく読み、いつでも参照できるように保管してください。**

本製品は、専門の施工業者による設置のみを想定した製品です。本書は、一般的な固定設置システムにおける本製品を対象に、基本的な設置と安全上のガイドラインを施工業者様に提供します。設置する前に、本書とすべての安全に関する警告を読んでください。

**警告:**

- 本製品を設置する際は、必ず国および業界指導の安全基準に従ってください。各地の建築に関する条例や規則など、適用されるすべての法律に従って製品を設置することは施工業者の責任です。本製品を設置する前に、各地域の管轄官庁に相談してください。
- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や液体のある場所、湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶など、液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を製品の上や近くに置かないでください。
- 許可なく製品を改造しないでください。
- 車内や船上などで使用しないでください。
- この製品に付属するスピーカーワイヤーおよび機器相互配線用ケーブルは、壁埋め込み用には認可されていません。隠ぺい配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。
- プラグを主電源コンセントに接続する前にアース接続を行うか、コンセントに保護アース接続が組み込まれていることを確認してください。
- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- 取り付け用部品は必ずラックメーカーの推奨品を使用してください。
- バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎などの過度な温度にさらされるような場所で保管しないでください。
- 製品ラベルは本体底面にあります。



この記号は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることを示します。



この記号は、このガイドに製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを示します。

**注記:**

- 空気の流れが妨げられる恐れがあるため、製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。

**Information About Products That Generate Electrical Noise (FCC Compliance Notice for US)**

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at their own expense. Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment.

This product complies with the Canadian ICES-003 Class A specifications.


CAN ICES-3(A)/NMB-3(A)

**日本:**

プラグを主電源コンセントに接続する前にアース接続を行うか、コンセントに保護アース接続が組み込まれていることを確認してください。

安全上の重要な注意事項:

- 1. このガイドをよくお読みください。
- 2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
- 3. すべての注意事項に留意してください。
- 4. すべての指示に従ってください。
- 5. この製品を水の近くで使用しないでください。
- 6. 清掃の際は乾いた布を使用してください。
- 7. 通気孔は塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
- 8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置（アンプを含む）の近くには設置しないでください。
- 9. 極性プラグを使用する場合、極性プラグや接地極付きプラグの安全機能を損なうような使い方はしないでください。極性プラグには2つの端子があり、片方の端子がもう一方の端子よりも幅が広がっています。また、接地極付きプラグには2つの端子に加え、接地用のアース棒が付いています。極性プラグの広い方の刃および接地極付きプラグのアース棒は、お客様の安全を守る機能を果たします。製品に付属のプラグがお使いのコンセントに合わない場合は、電気工事業者などにご相談ください。
- 10. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
- 11. 必ず製造元より指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
- 12. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
- 13. 修理が必要な際には、カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、例えば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

 This product conforms to all applicable EU directive requirements. The complete Declaration of Conformity can be found at [www.Bose.com/compliance](http://www.Bose.com/compliance).

This Product meets all EN55103-2 immunity requirements for E2 electromagnetic environment.

仕様:

入力電圧: 100-240 VAC  
周波数: 50/60 Hz  
電流または電源: 最大60 W  
電源投入時の突入電流: 20 A @ 120 V, 38 A @ 230 V

Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements

Part Name	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated diphenylether (PBDE)
PCBs	X	0	0	0	0	0
Metal parts	X	0	0	0	0	0
Plastic parts	0	0	0	0	0	0
Speakers	X	0	0	0	0	0
Cables	X	0	0	0	0	0

This table is prepared in accordance with the provisions of SJ/T 11364.  
O: Indicates that said hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement of GB/T 26572.  
X: Indicates that said hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement of GB/T 26572.



この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

中国:



仅适用于 2000m 以下地区安全使用

海拔2000 m未満の地域での使用にのみ適しています。



仅适用于非热带气候条件下安全使用

熱帯地域以外での使用にのみ適しています。

## 製品概要

Bose® ControlSpace® EX-1280Cをお買い上げいただき、ありがとうございます。ControlSpace EX会議ソリューションは、Dante®マイクの直接接続や、シンプルでエレガントなアナログからDanteマイクへのコンバーター、あらゆるタイプの音声会議用インターフェース、および時間を大幅に節約するアルゴリズムを提供することにより、大規模な音声会議分野の設計と設置を簡素化します。

Bose ControlSpace Designerソフトウェアを使用すると、ボーズのControlSpace EX-1280C conferencing processorのセットアップ、制御、およびモニタリングを行うことができます。このソフトウェアは、**pro.Bose.com**から無料でダウンロードできます。別マニュアルのControlSpace Designer Software Guideを**pro.Bose.com**からダウンロードするか、ControlSpace Designerソフトウェア内のヘルプシステムをご覧ください。

本書は、設置に関する基本的な情報を提供します。本書に掲載された情報は、お客様が製品を設置およびセットアップする際の手助けとなることを目的としていますが、装置の設計、製造、または他のバージョンに関するすべての詳細情報が記載されているわけではありません。また、設置、運用、またはメンテナンスの作業中に発生する可能性のあるあらゆる状況が含まれているわけではありません。本書の範囲を超えた支援が必要な場合は、弊社代理店またはユーザーサポートセンターにお問い合わせください。このガイドの「お問い合わせ先」をご覧ください。

## 同梱物

Bose ControlSpace EX-1280C conferencing processorの Kartonの内容は次のとおりです。

- Bose ControlSpace EX-1280C conferencing processor
- オーディオ入力用に使用する緑のユーロブロックコネクタ (3.81 mm、6ピン) 6個
- GPI入力用に使用する緑のユーロブロックコネクタ (3.81 mm、6ピン) 1個
- オーディオ出力用に使用するオレンジのユーロブロックコネクタ (3.81 mm、6ピン) 4個
- GPO出力用に使用するオレンジのユーロブロックコネクタ (3.81 mm、6ピン) 1個
- シリアル接続用に使用する黒のユーロブロックコネクタ (3.81 mm、3ピン) 1個
- CC-16接続用に使用する黒のユーロブロックコネクタ (3.81 mm、3ピン) 1個
- プラスチックタイ 16個
- IEC電源コード (地域固有)
- 設置ガイド

## 互換性のあるコントローラー

EX-1280Cは、Bose ControlSpace RemoteおよびCrestron®、AMX®などのサードパーティ製のコントローラー、ならびにBose ControlSpace CC-16およびCC-64との互換性があります。

## フロントパネル

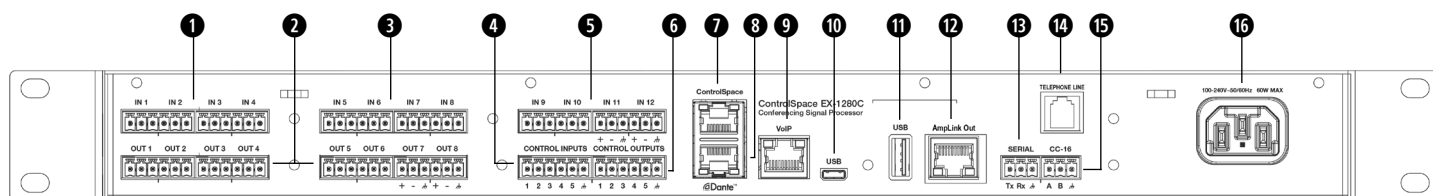
図1.フロントパネル図



- ❶ **電源／ステータスインジケータ:** 装置の電源がオンになるとLEDが白く点灯します。LEDはシステムの起動中に白く点滅したり、色が変わることがあります。ただし、起動完了後にLEDが赤のまま点灯している場合は、27ページのトラブルシューティングを参照してください。
- ❷ **OLED(有機EL)ディスプレイ:** メーターおよびネットワークに関する情報を表示します。
- ❸ **回転／押しボタン式ノブ:** メニューの操作、IP情報などの設定に使用します。

## リアパネル

図2.リアパネル図



- ❶❷❸ **アナログオーディオ入力:** 12系統のバランスオーディオ入力(3.81 mm、6ピンユーロブロック)。ControlSpace® Designer™ソフトウェアを使用して、自動エコーキャンセレーション(AEC)にルーティング可能です
- ❹ **アナログオーディオ出力:** 8系統のバランスオーディオ出力(3.81 mm、6ピンユーロブロック)
- ❺ **汎用制御入力(GPI):** 5系統の汎用制御入力(3.81 mm、6ピンユーロブロック)
- ❻ **汎用制御出力(GPO):** 5系統の汎用制御出力(3.81 mm、6ピンユーロブロック)
- ❼ **ControlSpaceネットワークポート:** ControlSpace Designerソフトウェアを起動しているPCまたはサードパーティのコントローラーに接続。RJ-45接続を使用。
- ❽ **Danteネットワークポート:** Danteデジタルオーディオ(64 x 64チャンネル、1 Gbps)、RJ-45接続を使用。
- ❾ **VoIP(IP電話)接続:** SIP 2.0準拠。RJ-45接続を使用。
- ❿ **Micro-B USB端子:** ステレオ入力および出力を備えたソフトコーデック用のPCに接続。
- ⓫ **USBポート:** 現在サポートされていません。ControlSpace EX-1280Cの将来のアップデート時に利用。
- ⓬ **AmpLink出力:** 8チャンネル非圧縮、超低レイテンシーデジタルオーディオ出力
- ⓭ **シリアルポート:** 3線RS-232C(DTE)シリアルインターフェース接続
- ⓮ **電話回線:** 全世界的に使用されているアナログ電話接続をサポート。RJ-11接続を使用。
- ⓯ **CC-16ポート:** ボーズのCC-16ゾーンコントローラー、またはRS-485接続を使用するその他のコントロールインターフェースに対応
- ⓰ **AC電源コード接続:** IEC 60320-C14に準拠したインレット

## ハードウェアの設置

ControlSpace EX-1280Cを初めてセットアップするには、次の手順を実行します。

1. ControlSpace® Designer™ソフトウェアのダウンロードおよびインストール
2. プロセッサのラックへの取り付け
3. アナログオーディオの接続
4. VoIPおよび回線接続の確立
5. AmpLink対応アンプの接続
6. リモコンの接続
7. GPIOの接続
8. 電源コードの接続
9. ネットワーク接続の確立
10. ControlSpace Designerソフトウェアでのプロセッサの設定

**注:** 換気が必要なため、キャビネット、戸棚などの密閉された空間に機器を設置する場合は、適切な通気を確保してください。

### 1. ControlSpace Designerソフトウェアのダウンロードおよびインストール

EX-1280C conferencing processorと同じローカルサブネットマスク上にあるPCにControlSpace Designerソフトウェアをダウンロードしてインストールします。**pro.Bose.com**にアクセスして、最新のソフトウェアバージョンをダウンロードしてください。このソフトウェアには、製品のファームウェア、最新のアルゴリズム、ならびに、高品質オーディオシステムで使用するようプロセッサを設定する際にシステム設計者や施工者に役立つ詳細なヘルプシステムが含まれています。

### 2. プロセッサのラックへの取り付け

EX-1280Cプロセッサは、標準の48 cmラックに収まるように設計されています。高さが1ラックユニット(RU)、フロントラックレールからの奥行きが265 mmのラックスペースが必要です。4組のネジとワッシャー(付属していません)を使用して、プロセッサを取り付けてください。

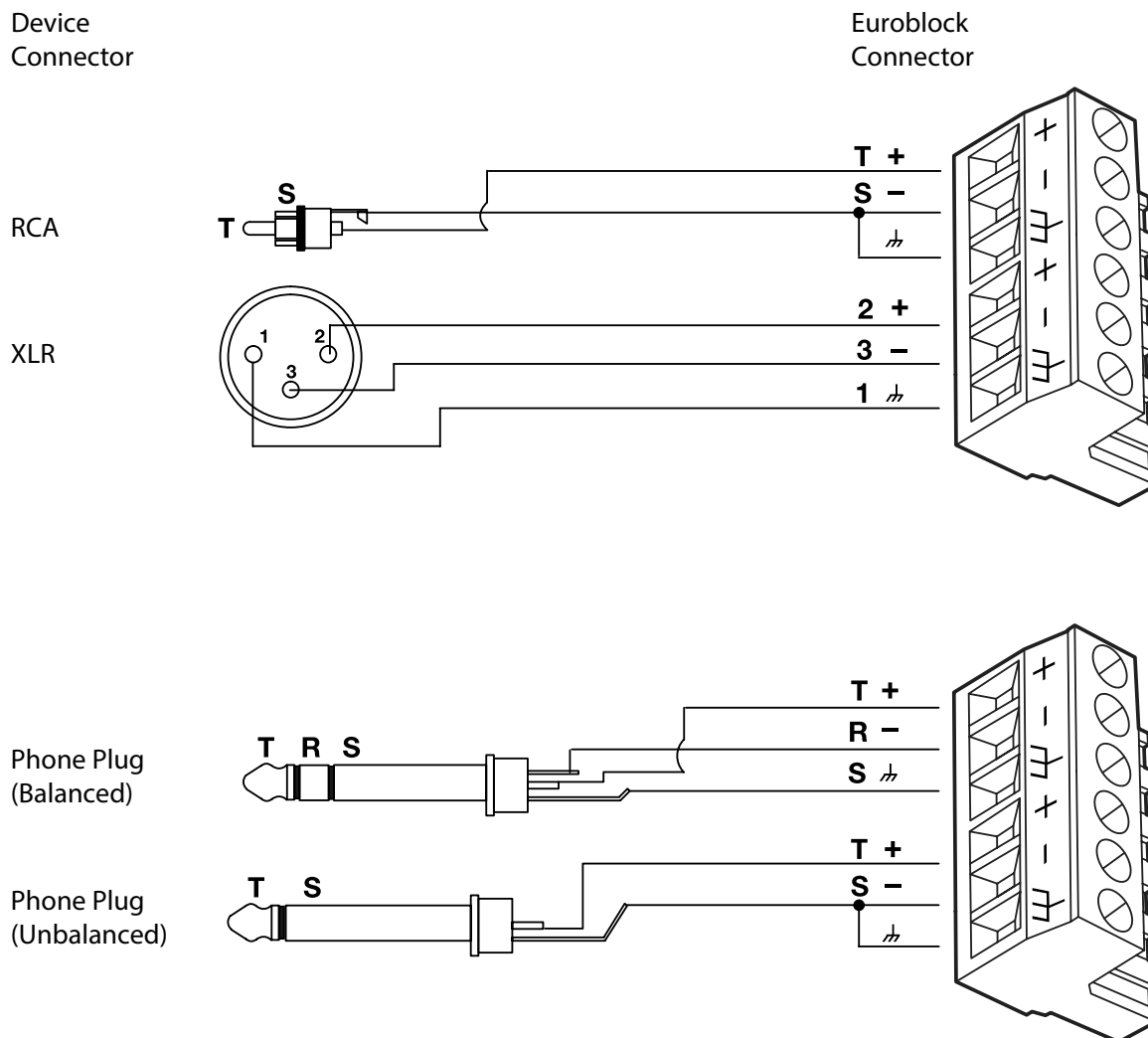
この製品では、2台の可変スピードファンを利用しており、0° C~40° Cの周囲温度で安全に使用できます。電力損失定格については、このガイドの技術仕様を参照してください。

**注意:** 取り付け用部品は必ずラックメーカーの推奨品を使用してください。

### 3. アナログオーディオの接続

#### アナログオーディオ

EX-1280CIには、アナログオーディオ接続のためのバランスデュアルチャンネル用のユーロブロックコネクター(3.81 mm、6ピン)が同梱されています。各コネクターの端子部には、結線の説明が印字されています。



## 4. VoIPおよび回線接続の確立

### VoIP

CAT5ケーブルを使用して、EX-1280Cの**VoIP**ポート(RJ-45)を互換性のあるSIP IP PBXに接続します。  
VoIP接続の設定の詳細については、ControlSpace Designerソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。

### 電話回線の接続

電話回線接続ポート(RJ-11)を使用してEX-1280Cを電話回線に接続します。

### Micro-B USBの接続

ステレオ入出力でソフトコーデックを使用するには、Micro-B USBポートを使用してEX-1280CをPCに接続します。

## 5. AmpLink対応アンプの接続

ボーズのAmpLink対応アンプを使用している場合は、EX-1280CのAmpLink出力をCAT 5シールドケーブルを使用してアンプのAmpLinkに接続します。

**注意:** AmpLinkが正しく動作するには、EIA/TIA 568B準拠のCAT 5シールドストレートケーブル(または同等のケーブル)が必要です。AmpLinkのオーディオに影響するため、非シールドケーブルはサポートされません。

EX-1280CではAmpLinkの最初の8チャンネルを送信します。アンプのリアパネルのスイッチ設定を使用して、アンプ上の対応するチャンネルを選択します。

## 6. リモコンの接続

EX-1280C conferencing processorは、互換性のあるBose®コントローラーに接続するためのRS-485ポート(**CC-16**)と、その他の業界標準の制御システムに接続するためのRS-232ポート(**シリアル**)を備えています。

### CC-16ポート

リアパネルの**CC-16**ポートを使用してBose ControlSpace CC-16 controllerに接続します。付属の3ピンユーロブロックコネクタを使用して、RS-485ネットワーク接続を行います。これらの接続の配線方法の詳細については、**pro.Bose.com**のCC-16設置ガイドを参照してください。

最大15台のCC-16ゾーンコントローラーをネットワーク接続して、ボーズのControlSpace制御ネットワーク上のEX-1280Cや任意の機器を制御できます。外部電源アダプターが必要です。なお、A端子とB端子の配線に加えて、EX-1280Cから各CC-16ゾーンコントローラーにはグラウンド端子を接続することを強くお勧めします。EX-1280CからCC-16までの最大距離は610 mです。

### シリアルポート

RS-232接続を使用して、**シリアル**ポートへ業界の標準的な制御システムをEX-1280Cに接続します。付属の3ピンユーロブロックコネクタを使用して、RS-232接続を行います。

EX-1280Cの3ピンコネクタは、次のようにDE9コネクタのピン配列に対応しています。

EX-1280Cシリアルポート	DE9コネクタのピン配列
Tx	ピン2(データ受信)
Rx	ピン3(データ送信)
Gnd	ピン5(グラウンド)

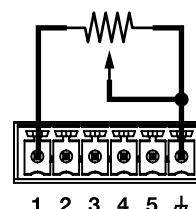
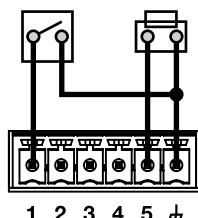


## 7. GPIOの接続

EX-1280Cのリアパネルに5系統の制御入力(GPI)と5系統の制御出力(GPO)が用意されており、EX-1280Cを外部の制御ハードウェアと連動させるために使用することができます。

### 汎用入力(GPI)

汎用制御入力ポートは、ポテンショメーター(レベルまたはゲインを制御するため)やスイッチ(ロジック状態を設定するため)などの外部ハードウェアを接続するために使用します。ControlSpace Designerソフトウェアを使用して、このような外部コントロールに機能を簡単に割り当てることができます。



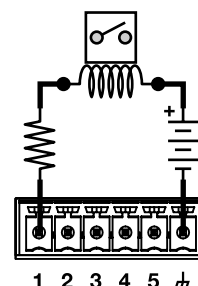
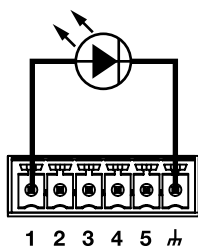
#### スイッチの使用

トグルスイッチと押しボタンのどちらも制御入力に使用することができます。外部のスイッチを入力からアースに直接配線できるように、個々の入力端子は内部の各プルアップ抵抗(2 k $\Omega$ )に接続されています。

#### ポテンショメーターの使用

10 k $\Omega$ のポテンショメーターは、システムデザインにおいて、ゲインブロックコントロールに接続および関連付けすることができます。リニアテーパー付きポテンショメーターと互換性があります。(ControlSpace Designerソフトウェアを使用)時計回りにまたは反時計回りにフル回転させた位置で抵抗が最も少なくなるように接続されます。

### 汎用出力(GPO)



#### 電力を必要とするデバイス

LEDや低電流リレーなどの装置は、制御出力から直接駆動できます。最大10 mAの電流が供給されます。

出力の上限: 8 VDC、10 mA(最大)

#### 電流シンクデバイス

利用可能な電流よりも多くの電流を必要とする場合は、外部電源を使用して、制御出力に最大100 mAをシンクさせることができます。誘導負荷を駆動する場合は、適切な事前策を講じてください。

シンク制限: 100 mA(最大)外部供給は24 VDC以下である必要があります。

## 8. 電源コードの接続

EX-1280C conferencing professorでは、取り外し可能なIEC電源コードを使用しており、ACライン電圧85～264 VAC、50/60 Hz、最大60 Wで動作します。

EX-1280Cの電源を入れるには、リアパネルにある電源コードをコンセントに差し込みます。電源が入ると、起動に40秒ほどかかります。プロセッサが接続／運転できる状態になると、LCDディスプレイにメニューが表示され、電源のLEDが赤から白に点灯します。

**注:** 電源コードを接続する前に、すべてのオーディオとネットワーク接続を行ってください。

## 9. ネットワーク接続

EX-1280CをPCに直接接続するか、Ethernetスイッチを使用して接続します。EX-1280Cは、ControlSpaceポートを使用して、スイッチまたはPCに接続する必要があります。以下の3つのいずれかの方法でPCがEX-1280Cと同じサブネット上にあることを確認してください。

- PCをDHCPに設定して、DHCPサーバーをネットワークに接続する。EX-1280CおよびPCはどちらもDHCPサーバーからIPアドレスを取得します。
- PCをDHCPに設定して、DHCPサーバーは使用しない。EX-1280CおよびPCはどちらも自動割り当てされたIPアドレスを取得します。
- PCを静的IPアドレスに設定し、フロントパネルを使用してEX-1280Cに同じサブネット上の静的アドレスを割り当てる。

詳細については、ControlSpace Designer Software Guideを[pro.Bose.com](http://pro.Bose.com)からダウンロードするか、またはソフトウェア内のヘルプシステムでご参照ください。

## 10. ControlSpace Designerソフトウェアを使用したプロセッサの設定

すべてのネットワーク接続と設定が正しく行われると、ControlSpace Designerはネットワーク上のEX-1280Cを自動的に識別します。

ネットワーク接続を確立し、ControlSpace Designerソフトウェアをインストールした状態で、ControlSpace Designerソフトウェア内にあるHardware Managerツールを使用して、プロセッサのファームウェアのスキャンとアップデートを実施します。ファームウェアのパネルにプロセッサのステータスが「Up-to-Date」(最新)と表示されたら、ControlSpace Designerソフトウェアを使用してご使用のシステムの設計を開始してください。


ControlSpace Designerソフトウェアを使用してプロセッサまたはシステム全体(ボーズのシステムにネットワーク接続されたすべての電子機器を含む)の設定、制御、モニタリングを行う方法の詳細については、ControlSpaceソフトウェアのヘルプシステムをご利用いただくか、ControlSpace Designer Software Guideを[pro.Bose.com](http://pro.Bose.com)からダウンロードしてください。

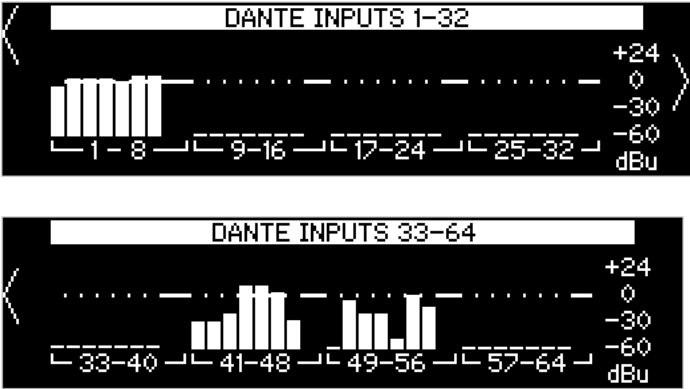
フロントパネルのコントロールメニュー

EX-1280Cには、フロントパネルにコントロールメニューがあります。このメニューでは、ネットワーク設定の確認や変更を行ったり、オーディオの入力や出力のメーターを表示したり、ディスプレイ設定を変更したりすることができます。

コントロールメニューの説明

次の表では、各メニュー項目およびフロントパネルから使用できる各種オプションについて説明します。  
項目を選択するには、その項目がハイライトされるまでつまみを回します。項目を開くには、つまみを押します。

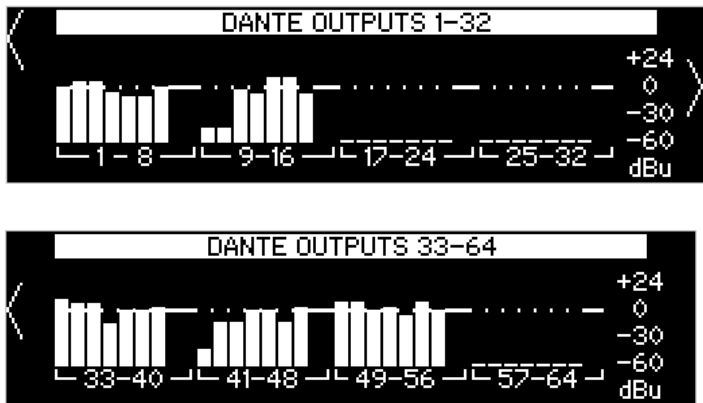
MAIN MENU (メインメニュー)	
	
説明	「MAIN MENU」(メインメニュー)には次の6つのオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• DANTE INPUT (DANTE入力)</li><li>• LOCAL IN/OUT (ローカル入出力)</li><li>• AmpLink</li><li>• DANTE OUTPUT (DANTE出力)</li><li>• VoIP Phone USB (VoIP 電話 USB)</li><li>• CONFIG (設定)</li></ul>
実行できる操作	目的のメニュー項目がハイライトされるまで、つまみを回します。項目を開くには、つまみを押します。

DANTE INPUT (DANTE入力)	
	
説明	「DANTE INPUT」(DANTE入力)では各Dante入力チャンネル1~64の音量(-60 dBu ~ +24 dBu)が表示されます。
実行できる操作	最初の画面にはチャンネル1~32が表示されます。チャンネル33~64を表示するには、つまみを時計回りに回します。「MAIN MENU」(メインメニュー)に戻るには、つまみを反時計回りに回します。

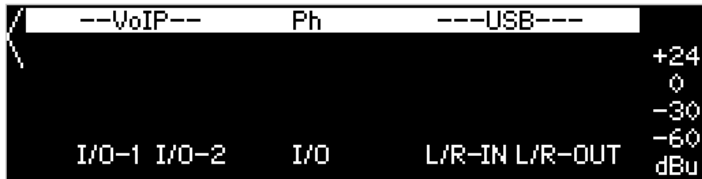
LOCAL IN/OUT (ローカル入出力)	
	<div><div><div>LOCAL INPUTS</div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>1 - 12</div></div><div><div>+24</div><div>0</div><div>-30</div><div>-60</div><div>dBu</div></div><div><div>PH POWER</div><div><div>●</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div></div><div>MUTE</div><div><div>○</div><div>●</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div></div><div>1 - 12</div></div></div></div> <div><div><div>LOCAL OUTPUTS</div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>1 - 8</div></div><div><div>+24</div><div>0</div><div>-30</div><div>-60</div><div>dBu</div></div><div><div>POLARITY</div><div><div>+</div><div>-</div><div>+</div><div>+</div><div>+</div><div>+</div><div>+</div><div>+</div></div><div>MUTE</div><div><div>●</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div><div>○</div></div><div>1 - 8</div></div></div></div>
説明	<p>「LOCAL INPUTS」(ローカル入力)では、アナログ入力チャンネル1~12の次の情報を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>Audio level(音量) (-60 dBu~+24 dBu)</li><li>PH POWER(ファンタム電源): 黒丸は、対応する入力チャンネルにファンタム電源が適用されていないことを示します。白丸は、対応する入力チャンネルにファンタム電源が適用されていることを示します。ControlSpace Designerソフトウェアを使用して各チャンネル毎にファンタム電源の適用・削除を設定します。</li><li>MUTE(ミュート): 黒丸は、対応する入力チャンネルがミュートされていないことを示します。白丸は、対応する入力チャンネルがミュートされていることを示します。ControlSpace Designerソフトウェアを使用して各チャンネルのミュートステータスを設定します。</li></ul> <p>「LOCAL OUTPUTS」(ローカル出力)では、アナログ出力チャンネル1~8の次の情報を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>Audio level(音量) (-60 dBu~+24 dBu)</li><li>POLARITY(極性): プラス極性は「+」記号で表示されます。マイナス極性は「-」記号で表示されます。ControlSpace Designerソフトウェアを使用して各チャンネルの極性を設定します。</li><li>MUTE(ミュート): 黒丸は、対応する出力チャンネルがミュートされていないことを示します。白丸は、対応する出力チャンネルがミュートされていることを示します。ControlSpace Designerソフトウェアを使用して各チャンネルのミュートステータスを設定します。</li></ul>
実行できる操作	最初の画面には入力チャンネル1~12が表示されます。出力チャンネル1~8を表示するには、つまみを時計回りに回します。「MAIN MENU」(メインメニュー)に戻るには、つまみを反時計回りに回します。

AmpLink	
	<div><div><div>AmpLink</div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>1 - 8</div></div><div><div>+24</div><div>0</div><div>-30</div><div>-60</div><div>dBu</div></div></div></div>
説明	「AmpLink」ではAmpLink出力チャンネル1~8の音量(-60 dBu~ +24 dBu)が表示されます。
実行できる操作	「MAIN MENU」(メインメニュー)に戻るには、つまみを反時計回りに回します。


## DANTE OUTPUT (DANTE出力)

	 <p>The image shows two screenshots of the DANTE OUTPUT menu. The top screenshot displays 'DANTE OUTPUTS 1-32' with a bar graph showing levels for groups 1-8, 9-16, 17-24, and 25-32. The bottom screenshot displays 'DANTE OUTPUTS 33-64' with a bar graph showing levels for groups 33-40, 41-48, 49-56, and 57-64. Both graphs have a vertical scale from -60 dBu to +24 dBu.</p>
説明	「DANTE OUTPUT」(DANTE出力)では各Dante入力チャンネル1~64の音量(-60 dBu ~ +24 dBu)が表示されます。
実行できる操作	最初の画面にはチャンネル1~32が表示されます。チャンネル33~64を表示するには、つまみを時計回りに回します。「MAIN MENU」(メインメニュー)に戻るには、つまみを反時計回りに回します。

## VoIP Phone USB (VoIP 電話 USB)

	 <p>The image shows the VoIP Phone USB menu with a bar graph. The top of the screen displays '--VoIP--', 'Ph', and '---USB---'. The bar graph shows levels for 'I/O-1', 'I/O-2', 'I/O', and 'L/R-IN L/R-OUT'. The vertical scale ranges from -60 dBu to +24 dBu.</p>
説明	<p>「VoIP Phone USB」(VoIP 電話 USB)では、次の音量(-60 dBu ~ +24 dBu)を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• VoIP Input/Output channel 1 (VoIP入力/出力チャンネル1)</li> <li>• VoIP Input/Output channel 2 (VoIP入力/出力チャンネル2)</li> <li>• Phone Input/Output (電話入力/出力)</li> <li>• USB Left/Right In (USB左/右入力)</li> <li>• USB Left/Right Out (USB左/右出力)</li> </ul>
実行できる操作	「MAIN MENU」(メインメニュー)に戻るには、つまみを反時計回りに回します。

## CONFIG (設定)

	 <p>The image shows the CONFIG menu with a grid of options: CS NETW SETTINGS, VoIP NETW SETTINGS, DANTE INFO, VERSION INFO, DESIGN FILE INFO, and DISPLAY SETTINGS. A back arrow icon is visible on the left.</p>
説明	<p>「CONFIG」(設定)メニューには次の7つのオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CS NETW SETTINGS (ControlSpaceネットワーク設定)</li> <li>• VoIP NETW SETTINGS (VoIPネットワーク設定)</li> <li>• DANTE INFO (DANTE情報)</li> <li>• VERSION INFO (バージョン情報)</li> <li>• DESIGN FILE INFO (デザインファイル情報)</li> <li>• DISPLAY SETTINGS (ディスプレイ設定)</li> </ul>
実行できる操作	目的のメニュー項目がハイライトされるまで、つまみを回します。項目を開くには、つまみを押します。

CONFIG (設定) > CS NETW SETTINGS (ControlSpaceネットワーク設定)

NETWORK SETTINGS - CS	
MODE	DHCP
IP ADDRESS	192 168 0 160
SUBNET MASK	255 255 255 0
GATEWAY	192 168 0 1
MAC ADDRESS	00:0c:8a:78:00:25

- 説明
- 「CS NETW SETTINGS」(ControlSpaceネットワーク設定)では、次のControlSpaceネットワーク設定を表示および編集できます。
- MODE (モード): 「DHCP」または「STATIC」(静的)を選択します。
  - IP ADDRESS (IPアドレス): 機器のIPアドレスを表示および編集します。
  - SUBNET MASK (サブネットマスク): サブネットマスクアドレスを表示および編集します。
  - GATEWAY (ゲートウェイ): ゲートウェイアドレスを表示および編集します。
  - MAC ADDRESS (MACアドレス): 機器のMACアドレスを表示します。

実行できる操作

「MODE」(モード)を選択するには、「MODE」(モード)行に矢印が表示されるまでつまみを回します。編集モードを有効にするには、つまみを押します。「DHCP」と「STATIC」(静的)のどちらかを選択するには、つまみを回します。設定するには、つまみを押します。

IPアドレス、サブネットマスク、またはゲートウェイを変更するには: 該当する行に矢印が表示されるまでつまみを回します。編集モードを有効にするには、つまみを押します。最初のアドレスブロックの数値を変更するには、つまみを回します。アドレスを設定するには、つまみを押します。次のアドレスブロックに移動して、操作を繰り返すには、つまみを回します。

MACアドレスは表示専用であるため、編集することはできません。

「CONFIG」(設定)メニューに戻るには、画面の左上隅に矢印がハイライトされるまでつまみを回してから、つまみを押します。変更を保存するようにメッセージが表示されます。「No」(いいえ) (デフォルト)を選択すると、この画面で行った変更は機器に保存されません。「YES」(はい)を選択すると、変更が保存され、機器が自動的に起動されます。オプションを選択するには、選択するオプションがハイライトされるまでつまみを回してから、つまみを押して選択します。

CONFIG (設定) > VoIP NETW SETTINGS (VoIPネットワーク設定)

NETWORK SETTINGS - VoIP	
MODE	DHCP
IP ADDRESS	192 168 0 160
SUBNET MASK	255 255 255 0
GATEWAY	192 168 0 1
MAC ADDRESS	00:0c:8a:78:00:26
VLAN	0

- 説明
- 「VoIP NETW SETTINGS」(VoIPネットワーク設定)では、次のIP電話ネットワーク設定を表示および編集できます。
- MODE (モード): 「DHCP」または「STATIC」(静的)を選択します。
  - IP ADDRESS (IPアドレス): EX-1280Cに装着されているVoIPカードのIPアドレスを表示および表示します。
  - SUBNET MASK (サブネットマスク): サブネットマスクアドレスを表示および編集します。
  - GATEWAY (ゲートウェイ): ゲートウェイアドレスを表示および編集します。
  - MAC ADDRESS (MACアドレス): EX-1280Cに装着されているVoIPカードのMACアドレスを表示します。
  - VLAN: オプションのVLAN番号を表示および編集します。

実行できる操作

「MODE」(モード)を選択するには、「MODE」(モード)行に矢印が表示されるまでつまみを回します。編集モードを有効にするには、つまみを押します。「DHCP」と「STATIC」(静的)のどちらかを選択するには、つまみを回します。設定するには、つまみを押します。


IPアドレス、サブネットマスク、またはゲートウェイを変更するには: 該当する行に矢印が表示されるまでつまみを回します。編集モードを有効にするには、つまみを押します。最初のアドレスブロックの数値を変更するには、つまみを回します。アドレスを設定するには、つまみを押します。次のアドレスブロックに移動して、操作を繰り返すには、つまみを回します。

MACアドレスは表示専用であるため、編集することはできません。

「CONFIG」(設定)メニューに戻るには、画面の左上隅に矢印がハイライトされるまでつまみを回してから、つまみを押します。

変更を保存するようにメッセージが表示されます。「No」(いいえ) (デフォルト)を選択すると、この画面で行った変更は機器に保存されません。「YES」(はい)を選択すると、変更が保存され、機器が自動的に起動されます。オプションを選択するには、選択するオプションがハイライトされるまでつまみを回してから、つまみを押して選択します。

## CONFIG (設定) &gt; DANTE INFO (DANTE情報)

	 <pre> Dante Info IP      192.168.0.53      Fact Model 1.0.6 MAC     00:1d:c1:0ed6:92  Fact SW    1.0.0 Ch Num  64x64              Fact FW    1.0.0 Build 6 MODE    SWITCHED         SW         3.9.6 ID       EX-1280C        FW         4.0.0 Device  BKLYN-II-0ed692           </pre>
説明	<p>「DANTE INFO」(DANTE情報)は以下の情報を表示します (Dante Controllerソフトウェアに表示されている内容に応じて異なります)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• IP: EX-1280Cに装着されているDanteカードのIPアドレスを表示および表示します。</li> <li>• MAC address (MACアドレス): EX-1280Cに装着されているDanteカードのMACアドレスを表示します。</li> <li>• CH Num (チャンネル数): 使用可能なDanteチャンネルの数を表示します。</li> <li>• MODE (モード): 現在のモードを表示します。表示されるモードは、SWITCHED、LEGACY、REDUNDANT、およびISOLATEDです。これらのモードの詳細については、ControlSpace Designerのヘルプブックを参照してください。</li> <li>• ID: 製品モデル名 (EX-1280C) を表示します。</li> <li>• Device (機器): このDante機器に割り当てられている名前を表示します。この名前は、ControlSpace DesignerソフトウェアまたはDante Controllerを使用して設定できます。</li> <li>• Fact Model (モデルのバージョン)</li> <li>• Fact SW (ソフトウェアのバージョン): EX1280-Cにインストールされているボーズのソフトウェアのバージョン番号を表示します。</li> <li>• Fact FW (ファームウェアのバージョン): EX1280-Cにインストールされているボーズのファームウェアのバージョン番号を表示します。</li> <li>• SW (ソフトウェア): EX1280CにインストールされているAudinate Danteソフトウェアのバージョン番号を表示します。</li> <li>• FW (ファームウェア): EX1280CにインストールされているAudinate Danteファームウェアのバージョン番号を表示します。</li> </ul>
実行できる操作	「MAIN MENU」(メインメニュー)に戻るには、つまみを反時計回りに回します。

## CONFIG (設定) &gt; VERSION INFO (バージョン情報)

	 <pre> Firmware Versions FW: v1.000, build: 1 DSP: App:0.39.0b0,Com:0.18.0b0,Alg:0.34.0b0 AEC: 1.0.3 (12 microphone channels) PSTN: v1.00              VoIP: v1.8.0 Dante: 1.0.6             Num Ch: 64x64 Kernel: 1.000           </pre>
説明	<p>「VERSION INFO」(バージョン情報)では、EX1280Cの次のコンポーネントのインストール済みソフトウェアおよび(または)ファームウェアのバージョン番号を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• FW</li> <li>• DSP</li> <li>• AEC</li> <li>• PSTN</li> <li>• Dante</li> <li>• Kernel (カーネル)</li> <li>• VoIP</li> </ul> <p>「Num Ch」(チャンネル数)では、使用可能なDanteオーディオチャンネルの数を表示します。</p>
実行できる操作	「MAIN MENU」(メインメニュー)に戻るには、つまみを反時計回りに回します。

CONFIG(設定) > DESIGN FILE INFO(設計ファイル情報)	
	
説明	<p>「DESIGN FILE INFO」(設計ファイル情報)では、EX1280-Cにアップロードされた最新のControlSpace Designerデザインファイルに関する次の情報を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Device Name(機器名): 機器の名前を表示します。</li> <li>• Last Upload(最新アップロード): 最後にデザインファイルをアップロードした日時を表示します。</li> <li>• File Size(ファイルサイズ): 前回アップロードされたデザインファイルのサイズを表示します。</li> <li>• RTC Master(RTCマスター): この機器がシステムのリアルタイム制御のマスターであるかどうかを指定します。</li> </ul>
実行できる操作	「MAIN MENU」(メインメニュー)に戻るには、つまみを反時計回りに回します。

CONFIG(設定) > DISPLAY SETTINGS(ディスプレイ設定)	
	
説明	<p>「DISPLAY SETTINGS」(ディスプレイ設定)では、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Display auto-shutoff(ディスプレイの自動シャットオフ): フロントパネルディスプレイがシャットオフされる時間を分単位で設定します。</li> <li>• Brightness(明るさ): フロントパネルディスプレイの明るさを調整します。</li> </ul>
実行できる操作	<p>つまみを回して、矢印を変更する設定に合わせます。つまみを押して、その設定を有効にします。つまみを回して値を調整し、もう一度つまみを押して値を設定します。</p> <p>「MAIN MENU」(メインメニュー)に戻るには、画面の左上隅に矢印がハイライトされるまでつまみを回してから、つまみを押します。</p>

## メンテナンス操作

### ファームウェアおよびソフトウェアのアップグレード

ControlSpace Designerソフトウェアは定期的に更新されます。新しいソフトウェアのリリースについては、ボーズのWebサイト([pro.Bose.com](http://pro.Bose.com))をご確認ください。

EX-1280Cのファームウェアを更新する方法については、ControlSpace Designerソフトウェアに組み込まれているヘルプシステムを参照してください。



## 故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>IEC電源コードを差し込み、電源を確認します。</li> </ul>
電源が入っているのに音が聴こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ControlSpace Designerソフトウェアを使用して、音源からの入力信号があることを確認します。オーディオ入力の信号メーターは緑色または黄色の帯域でなければなりません。</li> <li>出力信号があることを確認します。オーディオ出力の信号メーターは緑色または黄色の帯域でなければなりません。</li> </ul>
音声が歪む	<ul style="list-style-type: none"> <li>ControlSpace Designerソフトウェアを使用して、オーディオ入力信号のインジケータ部に赤色の点灯または点滅が見られないことを確認します。赤色の点灯または点滅が認められる場合は、入力プリゲイン設定を入力がクリッピング(赤色)しないレベルまで下げます。</li> <li>ControlSpace Designerソフトウェアを使用して、オーディオ出力信号のインジケータ部に赤色の点灯または点滅が見られないことを確認します。赤色の点灯または点滅が認められ、かつ入力インジケータが緑色である場合は、Designerソフトウェアを使用して、信号経路内の出力ゲインまたはいずれかの中間ゲインを下げます。</li> <li>システムに入力している入力ソース信号に問題がなく、かつ入力と出力のインジケータが緑色である場合は、スピーカーへの出力が過剰でないか、または損傷していないか確認します。</li> </ul>
PC上で動作するControlSpace DesignerからEX-1280Cをネットワーク接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>EX-1280Cプロセッサが完全に起動していることを確認します。起動している場合は、電源/ステータスインジケータのLEDが白く点灯します。</li> <li>PCで使用中のTCP/IP Ethernet機器のLAN設定が正しいことを、以下のように確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>DHCPサーバーを使用していない場合、PCのIPアドレスを未使用のIPアドレス(192.168.0.10など)に手動で設定する必要があります。</li> <li>デフォルトのIPサブネットマスクは、255.255.255.0に設定されています。</li> <li>PCのファイアウォールの設定を確認し、すべてのポートのブロックを解除します。</li> </ul> </li> <li>適切なホストネットワークインターフェースカード名がControlSpace Designer Hardware Managerで選択されていることを確認します。</li> <li>ネットワークに接続された他の機器に同じIPアドレスを使用している機器がないことを確認します。</li> <li>EX-1280CがControlSpace Designerを実行しているPCと同じネットワーク上にあることを確認するための詳細な手順については、ControlSpace Designerのヘルプを参照してください。</li> </ul>
起動後も電源のLEDが赤のままになっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの場合、デザインファイルとファームウェアの不一致が原因です。</li> <li>必要に応じて、EX-1280Cから保存されているデザインを取り出し、EX-1280Cにブランクの設計を送信します。LEDが白く変わります。</li> <li>CSDの最新バージョンにデザインをインポートしてアップグレードした後で、前のデザインを再送信します。</li> </ul>
EX-1280Cをネットワークに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ControlSpaceというラベルのRJ-45ジャックを使用して、EX-1280Cがネットワークに接続されていることを確認します。</li> <li>ControlSpace RJ-45ジャックに内蔵されているネットワークアクティビティのLEDが点灯または点滅していることを確認して、ネットワーク接続がアクティブであることを確認します。</li> </ul>
ControlSpaceのフロントパネルの「Network Settings」(ネットワーク設定)メニューに169.X.X.Xまたは172.X.X.X.Xという予期しないEX-1280CのIPアドレスが表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>DHCPサーバーがネットワーク上に存在しないときにDHCPに設定すると、EX-1280Cではこれらのアドレス範囲がデフォルトで設定されます。DHCPサーバーをネットワークに追加するか、EX-1280Cを静的IPアドレスに変更してください。</li> </ul>

トラブル	対処方法
EX-1280Cに接続されたAmpLink対応アンプでAmpLinkオーディオを受信できない	<ul style="list-style-type: none"><li>AmpLinkにCAT 5シールドケーブルが使用されていることを確認し、AmpLinkチャンネル1～8を受信するようにアンプを設定します。</li></ul>
EX-1280CでDanteオーディオをサブスクリプションできない、または音がでない	<ul style="list-style-type: none"><li>EX-1280CのDanteのIPアドレスがEX-1280CのControlSpaceコントロールIPアドレスと同じネットワーク上にあることを確認します。これは、EX-1280Cの「<b>CONFIG</b>」(設定) &gt; 「<b>DANTE INFO</b>」(DANTE情報)フロントパネルメニューで確認できます(詳細は、25ページを参照)。EX-1280C DanteのIPアドレスを変更するには、AudinateのDante Controllerソフトウェアを使用します。DanteのIPアドレスを表示および変更するには、PCのネットワーク設定を静的IPからDHCPに変更すると役立つ場合があります。</li></ul>

## 技術仕様

DSP	
シグナルプロセッサ	32ビット固定小数点／浮動小数点DSP 456 MHz/ARM Cortex-A8 600 MHz
最大処理能力	3.6 GIPS/2.7 GFLOPS
ディレイ	43秒
オーディオレイテンシー	1.05 ms(アナログ入力 - アナログ出力、AECなし)
A/DおよびD/A変換器	24ビット
サンプルレート	48 kHz
アナログオーディオ入力	
入力チャンネル	12バランス、マイク／ラインレベル
コネクタ、入力	3.81 mmユーロブロック、6ピン
入力インピーダンス	12 k $\Omega$ @ 1 kHz(ファンタム電源ON/OFF時共)
最大入力レベル	+24 dBu
入力換算ノイズ	44 dBのゲイン設定で-118 dB
ファンタム電源	+48 VDC、10 mA、入力ごとに選択可能
ゲイン設定	0/14/24/32/44/54/64 dB
アナログオーディオ出力	
出力チャンネル	8バランス、ラインレベル
コネクタ	3.81 mmユーロブロック、6ピン
出力インピーダンス	200 $\Omega$
最大出力レベル	+24 dBu
オーディオ性能仕様	
周波数特性	20～20 kHz(+0.3 dB/-0.1 dB)
THD+N	+4 dBu(A特性／20 Hz～20 kHz)で0.002%
チャンネル分離(クロストーク)	+4 dBu入出力レベルで-105 dB未満、1 kHz
ダイナミックレンジ	115 dB超、A特性／20 Hz～20 kHz、アナログ入力からアナログ出力
Audio Over IP	
Dante	64 x 64、プライマリー／セカンダリー
デジタルオーディオ出力	
AmpLink	8系統の21 $\mu$ s未満の超低レイテンシー、48 kHz
通信ポート	
USB機器	Micro B、ステレオ入力／出力
VoIP	RJ-45、2ライン、2インスタンス／1ライン
PSTN	RJ-11、1ライン、Tx/Rx
USBホスト	タイプA(将来の使用のため)
制御入力	
入力(制御)	5アナログまたはデジタル入力、2 k $\Omega$ 内部プルアップ抵抗(5 Vに接続)、3.81 mmユーロブロック、6ピン
アナログ入力電圧範囲	0 V～3.3 V(最大5 V)
デジタル入力電圧範囲	0 V～3.3 V(しきい電圧= 1.6 V)

## 技術仕様

制御出力	
出力(制御)	5デジタル出力、3.81 mmユーロブロック、6ピン
出力電圧	High: 8 V(オープンサーキット)、2.5 V@10 mA Low: 1 V以下@100 mA、push-pull
インジケータおよびコントロール	
ディスプレイ	256 x 64 OLED(有機ELディスプレイ)、ロータリーエンコーダー装備
LED状態インジケータ	電源/ステータス
オーディオ信号表示	ディスプレイ上
電気特性	
電源電圧	100~240 VAC、50/60 Hz
消費電力	35 W(周囲温度40 ° C)
電源コネクタ	IEC 60320-C14(インレット)
電力損失	60 W(205 BTU、52 kcal)
物理的仕様	
寸法(H x W x D)	44 mm x 483 mm x 282 mm
質量	約3.6 kg(7.3 lb)
動作温度	0° C~40° C
冷却システム	変速ファン2台、側面通気
その他	
PC設定ソフトウェア	ControlSpace® Designer™ソフトウェア
ネットワークコントロール	Ethernet(RJ-45)、1 Gb
RS-232/485ポート	RS-232(DTE)、ボーズCC-16(RS-485マスター)- 3.81 mmユーロブロック、3ピン
オーディオ入出力数	166(20アナログ、8 AmpLink出力、64 x 64 Dante、4 VoIP、4 USB、2 PSTN)

## 保証

本製品には製品保証が付いています。保証の詳細については、<https://probose.jp>をご覧ください。

Audinate®およびDante®は、Audinate Pty Ltd.の登録商標です。

Crestron®は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

AMX®は、Harmon, Internationalの登録商標です。

この製品(アクセサリ、交換パーツを含む)の詳細は、取扱説明書を参照してください。[pro.Bose.com](https://pro.Bose.com)で入手できます。詳細は弊社Webサイトをご参照ください。

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「7」は2007年または2017年です。

## 電気通信に関する適合性

### FCC適合宣言

#### 米国ユーザー向け

この装置は、FCC（連邦通信委員会）規定のパート68ならびにACTA（端末接続管理協議会）が採択した要求事項に準拠しています。この装置の底面には、US:JUBBR01AEX-1280C形式の製品IDとその他の情報を含むラベルがあります。この番号は、要請に応じて、電話会社に提供しなければなりません。この装置が接続されるサービスに関連する情報は、REN: 0.1A、ジャックタイプ: RJ-11C。

RENは、1本の電話回線に接続可能な装置の数を決定するために使用されます。1本の電話回線上のRENが多すぎると、それらの装置は着呼に応じてならなくなる場合があります。ほとんどのエリア（すべてではない）において、RENの総和は5(5.0)を超えてはなりません。RENの総数によって決まる1回線に接続可能な装置の数については、最寄りの電話会社にお問い合わせください。2001年7月23日以降に承認された製品については、この製品のRENは、US:JUBBR01AEX-1280C形式の製品IDの一部となります。01Aで表される数字は、小数点を含まないREN（01Aは0.1AのRENなど）です。2001年7月23日以前の製品では、RENは別途ラベル表示されています。

この装置を屋内配線および電話ネットワークに接続するために使用されるプラグとジャックは、該当するFCC（連邦通信委員会）規定のパート68ならびにACTAが採択した要求事項に準拠している必要があります。この製品には、適合規格の電話コードとモジュラープラグが付属しています。この電話コードとモジュラープラグは、対応する適合規格のモジュラージャックに接続するように設計されています。詳細については、取扱説明書を参照してください。

この装置は、電話会社が提供する公衆電話サービスでは使用できません。共同加入線サービスに接続すると、州の公共料金請求法が適用されます。

この装置が電話回線に害を及ぼすような場合は、電話会社はサービスの提供を一時的に停止することがあります。この場合、電話会社は利用者に可能な場合は事前に、不可能な場合はサービスの停止後できるだけ速やかに通知します。また、この場合、利用者にはFCCに申し立てる権利がある旨が通知されます。電話会社の設備や装置、運営方法、利用手順の変更によって、ご利用の装置が正常に機能しなくなることも起こります。これらの変更を行う場合、電話会社は利用者が継続的に電話サービスを受けられるように事前に連絡します。

この製品は、お客様が修理することはできません。装置に問題が生じた場合は、以下までお問合せください。

お名前:	Bose Corporation
住所:	100 The Mountain Rd., Framingham, MA, 01701 U.S.A.
電話番号:	(877) 428 -2673

電話会社は、その問題が解決するか、装置が故障していないことが確認されるまでこの装置をネットワークから取り外すようにお客様に要求する場合があります。

FCCの電気安全勧告に従って、この装置を接続するACコンセントにAC避雷針を設置することをお勧めします。電話会社の報告によると、通常、雷による過度電流で生じる電気サージは、AC電源に接続されているお客様の端末機器に対して極めて有害であり、これは米国全土で大きな問題となっています。

自宅に電話回線に接続されている専用の警報器が接続されている場合は、警報装置が無効にならないように、この装置、モデル番号EX-1280Cを設置してください。警報装置の無効について質問がある場合は、電話会社または認定設置業者に相談してください。

**カナダユーザー向け**

この製品は、該当するカナダイノベーション・科学・経済開発省の該当する技術仕様に適合しています。

振鈴相当番号 (REN) は、電話インターフェースに接続できる装置の最大数を示します。インターフェースの終端は、すべての装置の REN の総和が 5 を超えないという要件に従っている限り、装置の任意の組み合わせで構成できます。

クラス B のこのデジタル製品はカナダの ICES-003 に準拠します。

Le présent matériel est conforme aux spécifications techniques applicables d'Industrie Canada.

L'indice d'équivalence de la sonnerie (IES) sert indiquer le nombre maximal de terminaux qui peuvent tre raccordés une interface téléphonique. La terminaison d'une interface peut consister en une combinaison quelconque de dispositifs, la seule condition que la somme d'indices d'équivalence de la sonnerie de tous les dispositifs n'exc de pas 5.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme la norme NMB-003 du Canada.

## 連絡先情報

pro.Bose.comのWebサイトにアクセスしてください。

### 南北アメリカ

(米国、カナダ、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ)  
Bose Corporation  
100 The Mountain Rd.  
Framingham, MA 01701 USA  
Corporate Center: 508-879-7330  
Americas Professional Systems,  
Technical Support: 800-994-2673

### オーストラリア

Bose Pty Limited  
Unit 3/2 Holker Street  
Newington NSW Australia  
61 2 8737 9999

### ベルギー

Bose N.V./ S.A  
Limesweg 2, 03700  
Tongeren, Belgium  
012-390800

### 中国

Bose Electronics (Shanghai) Co Ltd  
25F, L'Avenue  
99 Xianxia Road  
Shanghai, P.R.C.200051 China  
86 21 6010 3800

### フランス

Bose S.A.S  
26-28 avenue de Winchester  
78100 St. Germain en Laye, France  
01-30-61-63-63

### ドイツ

Bose GmbH  
Max-Planck Strasse 36D 61381  
Friedrichsdorf, Deutschland  
06172-7104-0

### 香港

Bose Limited  
Suites 2101-2105, Tower One, Times Square  
1 Matheson Street, Causeway Bay, Hong Kong  
852 2123 9000

### インド

Bose Corporation India Private Limited  
Salcon Aurum, 3rd Floor  
Plot No. 4, Jasola District Centre  
New Delhi - 110025, India  
91 11 43080200

### イタリア

Bose SpA  
Centro Leoni A - Via G. Spadolini  
5 20122 Milano, Italy  
39-02-36704500

### 日本

ボーズ合同会社  
〒106-0032  
東京都港区六本木 1-4-5  
アークヒルズサウスタワー 13F  
www.bose.co.jp

### オランダ

Bose B.V.  
Gorslaan 60  
1441 RG Purmerend  
The Netherlands  
0299-390139

### 英国

Bose Ltd  
1 Ambley Green, Gillingham Business Park  
KENT ME8 0NJ  
Gillingham, England  
0870-741-4500

その他の国については、Webサイトをご覧ください

## 輸入者情報

### EU

Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

### 中国

Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plan 9, No. 353 North Riying Road, China (Shanghai)  
Pilot Free Trade Zone

### 台湾

Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No. 10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan  
Tel: 886 2 2514 7977

### メキシコ

Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F.  
Tel: 001 800 900 2673



788755-0010

©2017 Bose Corporation, All rights reserved.  
100 The Mountain Rd., Framingham, MA 01701-9168 USA  
[www.pro.Bose.com](http://www.pro.Bose.com)  
All trademarks are the property of their respective owners  
AM788755 Rev. 00  
OM-1588-A  
18 • 01(S)  
September 2017

